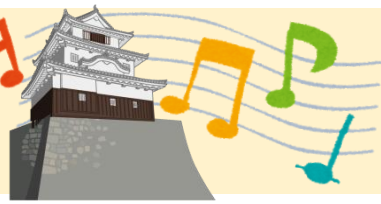


みんなの劇場通信！

Vol. 4



市民ワークショップ かわら版

みんなの劇場に求められること

集いから交流へ！「場」と「きっかけ」作りが鍵か？

丸亀市では、「（仮称）みんなの劇場」の整備に向けて、どのような事業を行うのか、どのような機能や規模の施設にするのかを検討しています。そこで、市民の皆様から様々な意見をいただくために、市民ワークショップを開催しています。

10月28日（月）4回目となる市民ワークショップを開催しました。前回、みんなの劇場の「みんなとは誰か？」を考えました。そこでは「ひきこもり」「高齢者」などのキーワードが挙げられ、様々な悩み・課題を抱えている人にとっての居場所となるような劇場が必要だという議論となりました。

そして今回は、そのような社会課題と改めて向き合い、「根本的な原因は何か」「課題を解決するにはどうすればよいか」を皆さんと話し合っていました。



各テーブルに、前回のワークショップで出てきたキーワードを抽出したカードを用意し、グループごとに議論したいテーマを選びました。

【各チームのテーマ】

- ①人と交流したい主夫・主婦
- ②心身が疲れている子ども
- ③友達が欲しいニート
- ④交通手段が無い僻地に住む人



各グループのテーマが決まったところで本題！その人たちが抱える課題を探り、それらを解決するために必要なことは何か、劇場という枠にこだわらず、アイデアを共有していきました。

「友達が欲しいニート」では、「人から必要とされている実感が無い」「本音で語り合える仲間がいない」という課題があり、「否定されないこと」「個性を生かして役割が与えられること」等が必要であるといった意見が挙げられました。

「心身が疲れている子ども」には、「スマホゲームのやりすぎ」「良い子で

いようとする」ということに原因があり、「異世代交流」「身体を使って遊ぶ」等の機会が必要であるといった意見が挙げられました。

「人と交流したい主夫・主婦」に関しては、「家庭内の居心地が悪い」「家族以外との接点がない」ということに問題があり、「家族で体験・新たな発見ができる場」「友人作りができた」と、他の世界を知れる機会」等が必要といった意見が挙げられました。

「交通手段が無い僻地に住む人」に関しては、「隣人や若者との交流減少」という課題に対して、「人口流入の仕掛けづくり」等が必要といった意見が挙げられました。

各テーマの課題と、解決に必要な要素から、出会い・知り合うことの重要性が見えてきました。みんなの劇場においては、人々が集える「場」と、文化芸術を通して交流できる「きっかけ」が求められています。



アイデアは裏面へ



編集後記 Nの視点

今回のワークショップでは、課題を抱える具体的な人々をテーマに議論をしました。自分自身の経験をもとに考えたり、自分が関わってきた人の姿を思い浮かべたりと、みなさんの想いが詰まったワークショップになったと思います。第2回から第4回のワークショップにかけて、地域の課題や、その解決に必要な要素について、ご意見をいただきました。ご意見の根底にある意味をしっかりと読み取り、具体的な劇場の事業や機能に反映させていきます。

次回予告！

第5回テーマ

「みんなの劇場を建ててみよう！」

日程：11月14日（木）

18:30-20:45

会場：丸亀市役所本館 2階第3会議室

チーム A 「人と交流したい主婦・主婦」

① 課題の原因を考える

家庭内の居心地が悪いから

- ・家庭内で負の雰囲気を出せない
- ・愚痴りたい
- ・相手（夫・妻）に言えないことがある
- ・夫・妻の外出に対する理解がない
- ・主婦業の悩み

話せる相手がいないから

- ・愚痴を内緒にしてくれる人
- ・家族じまん
- ・同じ環境の人とは話せない
- ・子育て中の親

世界が狭いから

- ・子どもとずっと一緒
- ・家庭以外と話す機会がない
- ・人間関係が仕事・家庭に限定される
- ・色んな人の反応をみたい

② 課題の解決策を考える

家族で楽しめるイベント

- ・感動を共有する場
- ・家族で体験・新たな発見
- ・協力する
- ・サイクリング
- ・皆で写真を撮って写真展
- ・失敗話選手権
- ・優勝者には商品を
- ・料理づくり

気が合う安心する友達を見つける

- ・同調できる人を見つける
- ・つないでくれる人
- ・共通の趣味で友人づくり
- ・参加者の多いイベント
- ・みんなで始められる場
- ・得意なことを拾う場
- ・参加率が上がる→広報

選択肢を増やす

- ・他の世界を知れる機会
- ・講演会
- ・たくさんのイベント
- ・情報広報
- ・新しいことを始めたい
- ・世界を広げたい

各グループのアイデア紹介！



チーム B 「心身が疲れている子ども」

① 課題の原因を考える

自由な時間がないから

- ・積極的に自分の頭で考えることをしない
- ・塾や習い事で忙しい

感動体験の機会がないから (五感を育む)

- ・感動するものを観ることをしない
- ・自分の手で物を作らない
- ・スマホゲームばかりしている

自らで考える機会が少ないから

- ・良い子でいようとする
- ・親の圧力が大きい

② 課題の解決策を考える

ご飯をつくる

- ・いろんな世代と関わりを持つ
- ・うどんを打つ
- ・野菜作りをする
- ・食材をつくる
- ・釣りをする

身体を使って遊ぶ

- ・自然の中であそぶ
- ・キャンプをする
- ・自由に出入りできる遊び場をつくる
- ・秘密基地をつくる
- ・星を観る
- ・習い事や塾をやめる
- ・近所の高齢者が見守る
- ・汗をかくことが大切
- ・思いっきり遊べる場をつくる
- ・スマホを使わない時間をつくる

親の意識改革が必要？

チーム C 「友達が欲しいニート」

① 課題の原因を考える

社会と関わる必要が無いから

- ・社会との接点がない
- ・社会にコミットできない
- ・社会に出る意欲が無い

自分の役割がないから

- ・人から必要とされている実感が乏しい
- ・本当に欲しいものが分からない
- ・負い目を感じている
- ・やりがいがない

本音で語り合える仲間がいないから

- ・喧嘩できるほどの仲間が必要
- ・本音でぶつかる相手が必要
- ・建て前ではなく本音
- ・腹の底から一緒に笑う
- ・一緒に生きている実感が無い

② 課題の解決策を考える

やりたいことを見つける

- ・スポーツ
- ・仕事
- ・感動する機会
- ・やる気をだす
- ・やりたくないことでがんばってみる

仲間を探す

- ・きっかけづくり
- ・紹介者
- ・居場所
- ・否定されない
- ・招待状がくると嬉しい

20代後半・独身・趣味はネットと、仮設定してみると...?

- ・ネットのオフ会で仲間作り
- ・ドラクエウォーク
- ・ポケモンGOで街に出る
- ・オフ会のキャンプ
- ・一緒にご飯を食べる

目標設定→ 個性を活かす→ 役割を与える→ 一緒に汗や涙を流す→ 仲間→ 達成！



チーム D 「交通手段がない僻地に住む人」

① 課題の原因を考える

高齢化

- ・隣の集落との行き交いが少なくなる

交流が少ないから

- ・若い人が出ていってしまう

社会資源・観光資源が少ないから

- ・観光客が集まらない

② 課題の解決策を考える

若者を増やす

- ・人口流入
- ・若い人が積極的に関わられるように
- ・仕事をつくる
- ・Uターン、Iターン
- ・外国人の受け入れ
- ・子どもの国内留学受入
- ・80代の民宿
- ・80代で集って話す

外からの視点をもつ

- ・映える観光地
- ・レンタサイクル
- ・2日連続貸出
- ・今ある資源の見直し
- ・戦前の家屋は貴重
- ・瀬戸芸のようなイベントを活かして観光客を増やす
- ・情報発信
- ・IT導入
- ・風景のネット中継
- ・ドローンで買い物
- ・ヨット、クルーザー体験計画